

進路ニュース

第1号 (2019.4.8) No. 247



茨城県立土浦湖北高等学校

進路指導部

入学・進級おめでとうございます。

新入生 240 名を迎え新年度が始まりました。皆さんもそれぞれに希望と抱負を持ち、目標も定めて今日を迎えていることと思います。高校は学びを深め心身ともに成長する場です。本校は文武両道を柱とする活力ある進学校を目指して様々な取り組みを行っています。この 1 年、学習や部活動、生徒会活動に励み、一人ひとりが充実した毎日を送って自己を高め、進路希望の実現に向けて大きく前進することを期待しています。

さて、昨年度は私立大学の入学定員の厳格化による合格者数の絞り込みが、受験生に大きく影響しました。また、2020年度の大学入試から「センター試験」に替わって「大学入学共通テスト」が導入されるなど、入試改革や大学改革も進行しており、高校生を取り巻く進路環境は激変しています。このような状況下で高校生が将来を見据え、自己の適性を活かして的確に進路を決定していくことは決して容易なことではありません。今春の入試動向を見ると、入試科目では英語の比率が一層高まり、新たに追加されたり配点が高められたりしています。加えて新テストを先取りした思考力や表現力を問う問題も増えています。一方、就職面では、県内高校生の求人倍率、就職内定率ともに昨年を上回りましたが、大手や人気の企業や職種に希望が集中したり、企業の求める水準が高まったりして思うように内定を得ることができない状況も見られました。

このような変化の激しい時期に高校生活を送り、進学や就職先を適切に選択していくには、高校生の進路を取り巻く環境の変化に留意し、進路に対する意識を一層高め、低学年のうちから将来を見据えて行動を起こす必要があります。希望する進路が学年進捗とともに変わっていくことも少なくありません。日頃から欠席や遅刻を無くし、学力と体力を高め、職業や大学と学部・学科の研究をしておくことは、誰にとっても大切です。

【充実した1年とするために】 ～ 一日も早く真剣な取り組みを ～

本校卒業生の進路は、国公立大学から公務員、民間企業への就職まで様々です。A0 入試のエントリーや公務員試験の出願は 6 月、民間企業の求人票公開は 7 月から始まります。大学等の「A0 入試」は 3 年の 8 月から、就職・公務員試験は 9 月から始まります。そして、大学入試センター試験の出願は 9 月末に行い、試験は翌年の 1 月に行われます。進路について考え、必要な準備をするのに“早すぎる”ということはありません。進路は、自分の意思と責任で選ぶものです。高校 3 年間の過ごし方次第で将来が大きく変わることを肝に銘じ、目標を持って 1 日 1 日を大切に過ごしてください。

○自己の適性を理解し、主体的に進路を選択できる能力と態度を身につけるために

1 年生：自己の能力や適性を理解し、将来の方向性を定めて高校生活の目標を明確にする。

授業の受け方や家庭学習の仕方、部活動との両立など高校の学習の仕方を身につける。

2 年生：目標とする進路、職業や生き方について研究・理解し、適切な将来設計を行う。

(職業研究, 大学・学部学科の研究, オープンキャンパスや看護体験, インターンシップへの参加)
苦手科目の克服と基礎・基本の定着を図る。

3 年生: 適切な進路目標の決定と実力の向上で第 1 志望合格を図る。

基礎力の完成と受験準備。過去問演習による得点力の向上を目指す。

※ 適切な進路希望を持ち, その実現を図るためには, 早い時期に望ましい学習習慣と盤石な基礎学力を身に付けなければなりません。国公立大学の入試では, 原則 5 教科 7 科目が必要です。特に英語は配点の比率も高く, 文・理問わずに必須で, 学習に要する時間もかなりのものです。大学入試では 4,000~6,000 語の英単語が必要になるともいわれています(高校入試では 1,200 語程度)。3 年生になると, 多くの人が「2 年生までの学習内容がいかほど大切か」ということを実感します。皆さんの中に, 部活動を「勉強できない理由」にしている人はいませんか? 好きな部活動をしているのですから, 部活を悪者にははいけません。学力は「力」であり, 力を付けるには十分な質と量を確保し, 努力を継続しなければなりません。「勉強は部活を引退してから」と考えているならば, スタートが遅れて進学・就職先やその受験方法の幅が狭まることを覚悟しなければなりません。

- ・自らの意志による選択と責任
- ・予定を持った行動(手帳によるスケジュール管理)
- ・主体的な学習(授業の徹底理解, 家庭学習の習慣化, 課外や学習合宿への積極的な参加)
- ・部活動や生徒会活動, ボランティア活動等への積極的な取り組み
- ・保護者との話し合いと共通理解, 進学資金の捻出
- ・生活リズムを崩さない(起床, 食事, 就寝の 3 点固定)
- ・新聞を毎日 1 時間以上読み込む(読解力と思考力を深め, 時事問題の知識を身に付ける)

【卒業生の話を聴く会】 ～今こそ活かせ! 先輩からのアドバイス～

去る 3 月 15 日(金)に「卒業生の話を聴く会」を行いました。1 日に卒業したばかりの先輩達ですが, スーツ姿も凛々しく, 落ち着いた物腰に大人の雰囲気を感じて在校生もマナー良く, かつ熱心に聞き入っていました。それぞれが自身の体験から後輩に伝えたい思いを熱く語ってくれました。以下に講話の概略を載せます。卒業生の体験に基づいた確かなアドバイスです。就職・公務員から国公立大学進学まで自分の進路目標を踏まえ, 新たな気持ちで読んでみてください。

①公務員 <自衛隊>

自衛官候補生に合格。自衛隊には様々な職種があり, 適性検査から自分に合った職種が選ばれるので, まだやりたいことが具体的に決まっていなかった自分には向いているのではないかと思った。高校生が受験できるのは一般曹候補生と自衛官候補生がある。一般曹候補生の受験が終わってからは, 自衛官候補生の問題集に取りかかった。一番大変だったのは作文と面接で, 作文は短時間で約 700 字を書かなければならなかった。自衛官候補生は合格, 一般曹候補生には一次試験で不合格となった。もっと早くから対策し, 勉強しておくのだったと後悔した。面接も苦労した。しかし, 挨拶や返事の仕方は陸上競技部で培われていたのだと思う。1 年生も 2 年生も毎日の勉強を大事にするとともに, 日頃から挨拶や返事を大きな声でしてほしい。あなたが, いつかやりたいことが見つかったら大丈夫なように。

②就職 <オリエンタルモーター株式会社 土浦営業所>

私は3年生になるまでは専門学校か大学の進学を考えていた。しかし行きたい大学もやりたいこともなく、オープンキャンパスに行ってもしっくりせず、決めかねていた。3年生になり進路講話を聞く機会が増え、考えが変わった。会社見学で社員の方々が自分の意見をきちんと持ち、生き生きと仕事をしている姿を見て、就職することにした。

内定までに大変だったのは、第一に面接。自分をアピールすることが苦手なので、面接練習では的確に答えることができず、納得がいくまで何度も練習した。先生によって意見や質問が異なるので色々な先生に見ていただくのがよい。進学でも就職でも学校を休まないことが大切。

③看護医療系（指定校推薦）<土浦協同病院附属看護専門学校>

高校入学前から看護師になりたいと、3年間特進クラスに在籍し、勉強する環境に自分を追い込んだ。土浦協同病院附属看護専門学校は推薦入試で定員の50%以上を確保するので、推薦入試の方が入学に有利と評定平均値を上げた。

看護は大学にしても専門学校にしても必ず面接がある。行きたい学校にはオープンキャンパスに毎年参加し、積極的に質問、相談した。作文や小論文では医療用語、医療の時事問題が出題される。自分では文章能力が欠けていると思ったので、校長先生にも指導していただいた。3年生になってどのような進路に進むことになっても対応できるように勉強しておくと思い。将来の自分をイメージすると良い。

④看護医療系（一般受験）<土浦協同病院附属看護専門学校>

元々は協同病院附属看護専門学校の指定校推薦を狙っていた。提出物やテストなどを意識していたが、あと少しのところで逃してしまった。看護系の進学は、一般入試でも内申が重要。欠席や遅刻、早退が多いと試験の結果がどんなに良くても合格できない。文理選択も重要で、理系を選択したことは良かった。2年生のうちは科目が多くて大変だが、3年生では数Ⅰ・Aを授業で選択できるので、学校でも受験に向けた勉強ができる。

一日看護体験にもたくさん参加した。実際の看護の現場を見ることができ、とても勉強になった。志望理由書や面接のネタにもなるので、ぜひ参加してほしい。3年生の9月頃からは、友達と学校が閉まるまで勉強し、分からないところはすぐに先生に聞くようにしていた。帰宅してからは平均5時間以上勉強した。冬休みは看護課外があったので、毎日学校で勉強した。よく使うアプリを消し、携帯を使わないようにした。私は焦って直前に勉強を始めたが、焦るのは良くないので、今のうちから勉強を始めてほしい。

友人の進路が推薦入試で先に決まっていたので、勉強中は不安があったが、しっかり勉強すれば合格できる。頑張してほしい。

⑤私立大学（AO）<茨城キリスト教大学文学部児童教育学科幼児保育専攻>

AOは1～3期までであるが、面談時に評定平均値が1期の受験資格があると分かり、1期から受験した。1期は志望理由書と課題図書を読み、課題文を書くが、課題提出期限まで1か月、面接まで2か月を切っていた。担任や部活動の顧問にお願いし、部活動の合間を縫って面接練習をした。

後悔しないように色々な大学を調べてオープンキャンパスに参加する。説明を聞くだけでなく、大学生や先生にも接することができるので、大学の様子も分かるし、面接の材料にもなる。

AOノートを作成し、資料やオープンキャンパスのまとめをした。大学が必要としていることを把握しておく。先生とたくさん面接練習をしていただくためにも、先生との日頃のつながりが面接練習に生きてくる。面接対策になるので、日頃からいろいろな人とコミュニケーションを図ると良い。

⑥私立大学（一般受験）<東京農業大学地域環境科学部造園科学科>

センター試験に向けて、どの教科でどれくらい点数を取るかという目標ラインを設定した。センター試験は時間との勝負になる。英語は時間内に解き終わるように、時間を計って過去問の長文問題をひたすら解いた。単語はコーパス4500、外ではmikanという英単語アプリを利用した。数学は、センターの過去問をひたすら解いた。過去問を解けば解くほどセンター試験の傾向が見える。数Ⅰ・A、数Ⅱ・Bの8年分の過去問は夏休みからセンター直前まで2周半くらいやった。古文は古典単語330いろいろはにほへどを使用。模試の解き直しはとても大切。甘く見てはいけない。

一般入試では、自分に有利な科目の組み合わせで受験する。自分の得意科目ではなく、実際に過去問を解いて出題の仕方を見てから選択する。出題傾向が自分と合う、合わないがあるので、確実に得点に反映できる科目を選ぶ。

一般入試だったので、周りを受験が終わっている。放課後一人で勉強することも多々あった。弱ったメンタルを補うための息抜きも必要である。

⑦私立大学（一般受験）<東京有明医療大学保健医療学部柔道整復学科・帝京大学・帝京平成大学>

受験期を振り返ると後悔ばかりが残る。3年間サッカー部と特進クラスに所属、平日は1時間半、休日は3時間を目安に勉強していた。とはいえ、勉強に本腰を入れるようになったのは、部活動を引退してからで、家庭学習時間は部活動をしていた頃の倍近くまで伸ばすことができた。

オープンキャンパスに参加することを勧めたい。大学を決める良い判断材料になる。赤本や過去問を無料で配布してくれる大学もある。特に面接がある場合は、志望理由を作るのに役立つので必ず参加してほしい。また、勉強は量よりも質を重視する。時間を意識しただけの勉強は、経験上、時間の無駄。質の高い勉強ができれば勉強時間は自然と伸びる。質の高い勉強をするには、まずは自分に合った参考書と問題集を見つけること。遅くとも3年生の夏までには参考書と問題集をそろえて、3周はできるぐらいの余裕を持つと、模試や11月頃から始まるセンター演習に対応できる。

⑧私立大学（公募推薦）＜東京農業大学国際食糧情報学部国際農業開発学科＞

2年生の秋頃から進路を意識し始めた。高校生活では勉強以外でも頑張ったことがあるので、部活動や課外活動を評価してくれる推薦入試を選んだ。公募推薦の不合格を視野に入れ、一般入試の勉強と平行しながら、勉強していた。推薦入試は落ちたときのダメージが大きいので覚悟をして臨む。

推薦入試において、学校の成績はとても重要。小論文は、新聞記事を切り抜いて、自分の意見をまとめることから始め、後には希望する進路に近い分野、教授の書いたものについて自分の意見をまとめた。それから大学の過去問を5～6年分解いた。小論文の内容を面接で聞かれることもあるので、答案を何度も読み返した。小論文の練習は早ければ早いほど良いので、推薦を考えている人はぜひ早めに始めてほしい。

面接については、指定校推薦も公募推薦も同じで、面接練習は色々な人で行うこと。本番は初対面の面接官と面接することになるので、対応できる力を身に付けておく。小論文、面接ともに、自分の知識、語彙力不足を痛感した。面接官はその分野のエキスパートなので、関連分野の知識や語彙が大切になってくる。そのためには、常日頃からニュースを見たり、新聞を読んだりする。受験は個人戦になりがちだが、友人と勉強したり、話をしたりするのも精神的に良い。一人で悩まず、協力し合い団体戦で頑張りたい。

⑨私立大学（指定校推薦）＜法政大学法学部政治学科＞

3年間頑張ったことは定期考査で、1年生の頃から定期考査では上位に入れるように頑張っていた。テスト前には、電話で友人とお互いに教え合い、勉強を頑張ることができた。また、提出物は必ず出すようにしていた。定期考査と提出物の2つを特に頑張って高い評定をもらい、最終的にいきたい大学の指定校推薦の枠をいただくことができた。

実は、今でもまだ将来の夢ややりたいことは特にないが、それでも学校を決めることができたのは、オープンキャンパスに行ったから。今悩んでいる人は色々な先生に相談してみると良い。たくさんの人に頼ってみる。先生はもちろん、友達にもたくさん助けてもらった。周囲の進路が決まっていき、不安になっている自分の話を聞いてくれたり、受験対策では、グループディスカッションの練習を一緒にしてくれたり、多くの友達に支えてもらった。感謝の気持ちを忘れずに大学生活を送りたいと思う。皆さんも頑張ってください。

⑩国公立大学（一般受験）＜茨城大学人文社会科学部現代社会学科・駒沢大学・常磐大学＞

基本的に毎日勉強する。夏休みまでを1か月ごとに区切り、模試などの目標を決め、1週間ごとに身に付けるものをアバウトに決めた。二次対策の時間がなかったのも、センター試験の比率が高い茨城大学にした。

何時間勉強するかではなく、何時間休むかを決め、これ以上だらだらと過ごさないようにした。塾や参考書で悩む人もいると思うが、使える物は使う。苦手だった世界史は、youtubeの動画を見て勉強した。分からないところはメモ帳に書き、トイレなどのすきま時間に見た。ジップロックにルーズリーフを入れ、風呂で見えることもあった。

勉強しなくてはいけないが、ストレスを溜めないことも大切。自分で目標を立て、効率よく勉強できるように考えると、塾に行く必要がなくなる。

⑪国公立大学（一般受験）＜茨城大学教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース音楽専修＞

中学校の音楽の先生に憧れ、先生になりたいと思っていた。県内の大学で音楽の教員の免許がとれるところを探したら茨城大学だった。

勉強法としては、計画を立てて、1日単位で時間は決めずに、決めた内容をこなしていた。決めた内容が早めに終わっても、計画以上のものはやらなかった。無駄な勉強は意味がない。おすすめの参考書は、苦手な教科ほど、薄くてイラストが多く、分かりやすいもの。周囲には東大の英単語帳や東進のを買っていた人もいたが、見栄を張らずに、自分に合ったものを選ぶ。買って満足するのではなく、使い切るのが大切。

今年の1年生からは共通テストになるが、テストの形式が変わるだけで答えが変わるわけではないので、勉強をしっかりとして欲しい。

周囲へのお願いは、自分が合格していたとしても、一般入試で受験をする人への配慮を忘れないでほしい。

一般クラスは勉強の進度が緩やかなので、大学進学を希望している人は特進クラスに入るべき。英検や漢検、数検などの資格は取れるだけ取る。死にもの狂いで勉強しないと受からない。現実には甘くないので第一志望に合格できるように頑張ってください。